## 平成29年度事業実績報告の概要 (小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 祖父江町商工会

事業名	   東紫柳亜 (北見 - 口め)	事業実績	主たる	事業評価																		
	事業概要(背景・目的)		対象者	目 標①				目 標②			得られた効果		ABC				ī .		今後の展	開・改善点等	備考	
業 成 同 日 日	小規模事業所を中心に職員が 巡回訪問し、税務・労務・金 齢相談などの指導を行うこと により、企業育成をすイラと もに、終登全般に係め、経 口の設置により、経 資する指導を行う。	巡回指導 実企業数 119 延企業数 538 窓口指導 実企企業数 108 延企業数 248 課題解決提案件数 18		指標	巡回窓口指導延件数 指標 (達成度 78.6 %)			指標				小規模事業者の良き相 談相手として信頼を得 ることができたと共に 企業の安定に貢献する	総合		事実業施	自己評価 B	事業	満足度	補足	目標 現状維持	今後も巡回・窓口 指導の徹底に努め る。	
			小規模事業者	目標	1000	実績	786	目標		実績 1.0	18	ことができた。 	評価	В	評側	目標達成度	世帯の	必要性		実施方法		
				数値	1000	数值	<u>i</u> /00	数值	20	数值	数値 10					В		В		現行どおり		
記帳継続指導	職員が、個人事業主などを対象に、正しい能時方法の指導を行い、正しい能力を指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力向上に結びつける。	対象事業所数 46		指標	記帳指導事業者数		指標				記帳指導事業所に対し 経営分析などの助言を し、節税対策に繋がっ	40		-	自己評価	事	満足度	補足	目標	小規模事業者の税 務知識向上を図る ため今後も引き続		
			小規模事業者	目標数値				(達成度 %)			<i>t</i> = 。	総合		事実業施	Α	調業 査者	А		現状維持	き実施する。		
		<b>佐田</b> 建双 <i>企</i>	7,7,10,7,7,1		45	実績数値		目標数値		実績 数値			評価		評側価の		きまれる。	必要性		実施方法	今後も小規模事業	
講習会事業												講習会を通じ、小規模				A	4	В		現行どおり		<u> </u>
	金融・税務等の知識習得及び 時事的問題につ致向して啓蒙を り、事業運営を資することを 目的とする。	5回 延86名 (内経営革新セミナー 1回参加者 24名) 個別講習会 37回 延121名	小規模事業者	指標	講習会開催回数		指標	(達成度 %)			調音云を通じ、小規模 事業者の資質向上や時 事的問題に対しての理 解度を高めることがで きた。	総合評		事実	自己評価	事業者	満足度	補足	目標	者の資質向上のため引き続き実施する。		
							1			%)					В		В		現状維持			
				目標 数値	40	実績数値		目標数値		実績数値			価		評側価の	目標達成度	業果の	必要性		実施方法		
						双胆		双胆		双胆						Α		В		現行どおり		
(そぶえイチョウ 黄葉まつり) 関則 にいきを始 た・風 く	たイチョウの木の立ち並んだ	11月18,19日 山崎会場 11月18日~11月26日 事業内容 まつり20周年記念事業実施、企 業展、特産品販売、各種アトラ クション開催、写真・俳句・写 生コンテストの開催、イチョウ		指標	来場者数			指標	(達成度 %)			マスコミ等を利用して PRすることにより、 多数のまつり観光客が 祖父江町の魅力を感じ	総合評			自己評価		満足度	補足	目標	今後もマスコミ等 を利用し、まつり を通じて地域活性 化に繋げる。	
			地域商工業者		(達成度 107.7 %)			%)			てもらい、地域活性化 に繋がった。			事実業施	А	調業 査者	В		現状維持			
				目標数値	200000	実績数値	実績 数値 215400		実績数値				価		評側価の		聖へ	必要性		実施方法	-	
								数值		3X IE						Α		В		現行どおり		
青年部・女性部事業	部員間での交流や社会福祉を 通じて地域との関わりを持つ ことにより、地域社会の発射 に寄与することを目的とす る。	定例会の実施 青年部 9回 女性部 5回 青年部 チャリティゴルフ開催 視察研修会の開催 女性部 各種講習会などの開催 視察研修会の開催	青年部員女性部員	指標	部員数			指標	(達成度 %)			定例会や研修会を行う ことで部員相互の親睦 を深め、イベント等を	総合			自己評価	事業	満足度	補足	目標	部員間交流や社会 福祉を通じて地域 活性化を図るため 今後も引き続き実 施する。	
					(達成度 104.4 %)			%)			通じて地域との関わり を持つことにより地域	事実 業施			А	А			現状維持			
				目標数値	45	実績	47	目標		実績		□社会の発展に貢献する □ことができた。 □	価		評側価の	目標達成度	結果の	必要性		実施方法		
					知 剱1	数值		数值		数值	(値				l	Α		В		現行どおり		
部会・委員会事業	商工業部会・小規模企業振興 委員会などの都会・委員会参加 動を行い、部会・委員会参加 企業の発展に資することを目 的とする。	プレミアム商品券発行事業		<b>华</b> 煙	構成員数 標 (達成度 100.0 %)		指標	(達成度 %)			商品券を発行すること により市内での購買意 欲が増し、地域活性化	総合評			自己評価		満足度	補足	目標	商工業部会を通じ て各企業の発展に 努める。		
			商工業各部員	10777			1015			%)	に繋げることができた。また視察研修を行うことにより各部員間			事実施評側	В	調業者	А		現状維持			
			振興委員	目標	31	実績		目標		実績		の情報交換及び交流が 図れた。	価			目標達成度	新へ 果の	必要性		実施方法		
		合同視察研修会の開催 1回		数值	J.	数值		数值		数值						Α		В		現行どおり		l

<sup>※</sup> 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に〇を付しています。※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

## 平成29年度事業実績報告の概要 (小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 祖父江町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる	事業評価																		
,			対象者		目 標①				目 標②			得られた効果				ABC	D評価	5		今後の展	開・改善点等	備考
持続的な 種共済制 の健全な	小規模事業者の経営・雇用の 持続的な安定を図るため、各 種共済制度の普及など、企業 の健全な育成に資することを	親睦ゴルフ大会参加者数 29 年末懇親会参加者数 39	小規模事業者	指標	共済加入事業所数票 (達成度 101.9 %)			指標	(達成度		%)	各種共済制度を普及することにより経営の安 定化が図れた。また福 利厚生事業を通じ、会	総合		事実業施	自己評価 B	調査	満足度 A	補足	目標 現状維持	共済制度普及や福 利厚生事業を通じ 会員間交流を深め るため、今後も引	
	目的とする。		7,500,778.0	目標数値	210	実績 数値	214	目標数値		実績 数値		員相互の交流ができ た。	価		評側価の	目標達成度 A	結へ果の	必要性 B		実施方法現行どおり	き続き実施する。	
労働保険事業	労働保険料の申告納付、種の 他労働保険に関する各行うこと 出等の事事務処理負担を軽減 し、労働保険料の適正な徴収を図 ることを目的とする。	年度更新などの事務代行 労働保険未加入事業所への 加入推進実施 自己財源の確保	委託事業所	指標	委託事業者数		指標				委託事業所の労働保険 に伴う事務代行を行う ことによって事務量の 軽減や信頼関係が得ら	総		事実	自己評価	事	満足度	補足	目標	今後も引き続き委 託事業所の増加を 目指す。		
				目標数値	(達成度	実績	20	目標	1 (2)312		軽減や信頼関係が待ら   れた。	合評価	В	業施	B 目標達成度	查者	B 必要性		現状維持 ————— 実施方法	_		
					23	数値	20	数値		数値		A \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \				В		В		現行どおり	TW 767 60 500 60 1 - 1	<u> </u>
青色申告会 の活動をサポートし、 営に協力することによ 一宮法人会祖父江支部 国・地方公共団体・地 一宮間税会祖父江地区 への貢献や発展のため	税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、	運 総会、役員会3回 会 法人会 助 総会、役員会2回 資		指標	税務関係団体会員事業所数 (達成度 91.2 %)		指標			%)	各会事業を通じて、会 員間交流、社会貢献、 企業発展などに繋がっ	総		事実	自己評価 B	i 調事	満足度	補足	目標 現状維持	税務知識向上のため、今後も引き続き実施する。		
	への貢献や発展のための一助 となり、商工業の活性化に資		税務関係団体 会員事業所		(達队及	実績	%)	日標	(達成度	実績		た。 	合評価		業施 評側 価の			A 必要性		現状維持 ————— 実施方法		
	することを目的とする。	間税会 総会		目標 数値	272	数値	248	数値		数値			,		ш 0)	В	^o	В		現行どおり		
しに地	産業団体の活動をサポートとし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体・地域社会への貢献や発展のための一助になることをよった。	イベント出展回数 3回 交通安全協会祖父江分会		指標	構成員数		指標				各種団体活動を行うことにより、意欲向上、 経営安定化、社会貢献	総		事実	自己評価	事	海 海 **	補足	目標	経営安定化や社会 貢献のため、今後 も引き続き実施す		
			小規模事業者 等		(達成度	実績	%)	目標数値	(建成度 %)		%)	などに繋がった。	合評		業施 評側	B 目標達成度	査者	B 必要性		現状維持 る。 実施方法		
	性化に資することを目的とする。	交通安全啓発活動ほか (毎月0の日の街頭指導)		目標 数値	233	数値	227			数値			価		価の	В	果へ	В		現行どおり		
「女性部資質向上セミナー」開催及び情報交換機会の創出のための全国大会参加 ニュアル化した事業を取り終 がいる傾向にあり、新規等 業活動は停滞気味である。 た、新規会員獲得が課題と たっている。そこで、部員を なっている。そこで、部員を	ニュアル化した事業を取り組 んでいる傾向にあり、新規事 業活動は停滞気味である。ま	参加者 22名 商工会全国大会参加 青年部正副部長 2名		指標	事業参加者数		指標	海足及(アンケート調査) を行い、アンケート総数 のうち高評価を占める割合		アート総数	女性部資質向上セミナーを開催したことにより、部員一人一人が向上心を持つことが出				自己評価	重	満足度	補足	目標	今後も青年部・女 性部活動を盛り上 げていくような事 業を実施してい		
	た、新規会員獲得が課題となっている。そこで、部員数 増加の糸口を掴むために、部員数 増工会全国大会への参加及び部 員の資質向上のためのセミ ナーを開催する。		青年部員 女性部員		(達成度	62.5 %)			135.7 %)		%)	来た。また、全国大会に参加し、各都道府県 の商工会と交流したこ	総合評	:	事実 業施 評側	В	調査結	Α			く。 単年度事業	
				目標数値	40	実績 数値	25	目標 数値		実績 数値	95	とにより、今後の青年 部・女性部活動の参考 になった。	価		価の	目標達成度	l⊞ '`	必要性		実施方法		
											<u> </u>					В		В				
地域産業活性化事業 「CSV戦略型イチョ	昨年度まではイチョウの実を 活用し、新商品開発・商品改 良を実施した。サービについ	作業部会 3回 事務局会議 10回		指標	開発商品	品及び改	<b>東京日本</b>	指標				各会議、先進地視察、 ビッグサイト出展を行 うことにより、商品に				自己評価		満足度	補足	目標	次年度以降も引き 続き商品開発に取 組み、日本一の銀	
ツ化事業」 し は 対 す を を を を を を を を を を を を を を を を を を	てはイチョウの葉と果肉、剪定枝等を活用した商品開発により、地域課題の解消を目に 地域資源「祖父江ぎんなん」を活用した新聞、「新マーケットの開拓と地域経済の牽引を目指	東京ビッグサイト出展 2月7~9日 新商品 イチョウアートキャンドル	地域商工業者		(達成度 66.7 %)				(達成度 %)		%)	対する率直な意見を聞くことができた。その - 意見を活かしながら、	総合		事実業施	Α	調業者	事 K			杏の郷「祖父江 町」をPRしてい	
				目標数値	3	実績数値	2	目標数値		実績数値		今年度はイチョウアートキャンドル及びイチョウの防虫剤を開発した。	価		評側価の			必要性		実施方法	単年度事業	
	拍と地域経済の牽引を目指   す。			- PA (IIII		251.115		>P 11=		- A-11		U/E <sub>0</sub>				С		В				

<sup>※</sup> 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に〇を付しています。※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。